

株式会社 新居パック

商品の充填・出荷まで手がけ
顧客の業務負担を軽減

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



段ボールの加工ライン

業務内容
幅広い分野で取引
独自製品の販売も

「新居パック」はパッケージに関する一貫サービス企業として、一般的な段ボール箱や化粧箱といった梱包用の箱の製造、工業部品・精密部品用トレーの企画販売のほか、輸入品の検品、箱詰め、出荷などの出荷委託業務も手がけている。

顧客は医療用品商社のほか、化学品や弱電機器、文具、食品などのメーカーと幅広く、大手の段ボール箱メーカーでは対応が難しい「多品種・小ロット・短納期」の注文にいつでも対応できることが特徴だ。最近では電線用の段ボール製リールなど、独自アイデアによる自社製品の販売も伸びている。

強み
オリジナル素材で
置き換え製品を開発

同社では、オリジナル素材「タフクロスシート」を用いた段ボール箱を製造。「タフクロスシート」は、段ボールシートの目方向をクロス状に貼ることで従来品よりも強度を高めたもの。これまでプラスチックや木で作られていた製品を段ボールに置き換えることができるため、使用後の廃棄も容易でエコの観点からも役立つ画期的な独自素材だ。

また、一般的な段ボール箱に加え、木型を使って機械で段ボールを打ち抜き、顧客の要望ごとに違った形に加工できる「トムソン箱」も製造する。これも小回りの利く同社ならではの製品である。

短期化
納期
詰め方や運送の仕方まで
アイデアを尽くす

段ボール箱などの製造だけでなく、輸入品の検品、箱詰め、出荷までもワンストップで請け負う委託業務も手がける。商品を入れる箱の

製作から行うため、納期の短縮と物流コストの低減に大きく寄与。輸入した商品箱などの検品のみという注文にも対応可能だ。「小口だがすぐに出荷しなければならぬ。しかもワレモノなので梱包を工夫してほしい」といった難しい注文にも応じる。箱詰めや出荷はすべて手作業のため一箱一箱、相手先の商品を傷つけない詰め方や包み方、運送の仕方に至るまでアイデアを尽くし顧客の期待に応える。これにより長い間、信頼を獲得し続けているという。

今後の展望
プラスアルファで
高まる存在価値

新居恒男社長は、利幅は薄い但し量は稼げるという戦略は取らず、小口で多様な注文に応え続ける考えだ。最近では小売の主流がインターネット販売になりつつあるが、「いつでもどこでも商品が手に入る時代だからこそ、付加価値で差を付けたので手伝いをしてほしい」という顧客の要望を受けることが多いという。個別注文に対応できる同社の存在価値は高まりそうだ。

今後、商品別では医療関連用品の需要増加が予想されるという。医療分野では求められる基準が厳しいことから、箱詰めの際などに異物混入を防ぐためにもクリーンルームの設置を検討中だ。

ラック用
段ボール製
タフトレー

電線用段ボール製工コリール

当社の歴史



父親が創業し3兄弟で経営していた紙器製造会社から独立する形で創業しました。お客様の「困りごと」を何とかしたいと目の前の問題に向き合っているうちに、段ボール箱から化粧箱の製造、検品、箱詰め業務へと、業務内容が多彩になっていきました。今後も熱意と良心を持ち、業務に取り組んでまいります。

代表取締役社長 新居 恒男さん

<http://www.araipack.co.jp/>

主な事業内容

段ボール箱や化粧箱などの製造、検品・充填などの加工業務

主な取引先(納入先)

医療用品商社、化学系メーカー、弱電メーカー、文具メーカー、食品メーカー

●住所 〒581-0039
八尾市
太田新町9-100
●TEL 072-948-8822
●FAX 072-948-8833
●創業 平成5年10月
●設立 平成5年10月
●資本金 1,000万円
●従業員 15名